

あゆみ

47号



創立60周年記念式典



サビエル高等学校後援会

山口県山陽小野田市掃山三丁目5番1号

サビエル高等学校のモットー
他者のために、他者ととともに
For Others, With Others

◆ 目次 ◆

サビエル高等学校 創立 60 周年を迎えて	後援会会長 西村 公一	・ ・ 1
微笑みのキリストを仰ぐ	理事長 小濱 富美代	・ ・ 2
60 周年 感謝の言葉	校長 松原 秀樹	・ ・ 3
ごあいさつ	同窓会会長 嶋田 千里 (35 期卒業生)	・ ・ 4
Begin to move again	生徒会長 畠山 千佳	・ ・ 5
2022 年度教職員一覧		・ ・ ・ ・ ・ 6
先生方お元気ですか？		・ ・ ・ ・ ・ 7
祝 60 周年		・ ・ ・ ・ ・ 9
2021 年度決算報告		・ ・ ・ ・ ・ 15
サビエル高等学校後援会会則		・ ・ ・ ・ ・ 16
2021 年度役員一覧		・ ・ ・ ・ ・ 17
サビエル高等学校と後援会のあゆみ		・ ・ ・ ・ ・ 18

サビエル高等学校創立60周年を迎えて



サビエル後援会 会長 西村 公一

日頃からサビエル高等学校に対して格別のご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

サビエル高等学校は今年で創立60周年を迎えました。1962年4月小野田女子学院高等学校として創設され、1964年にサビエル高等学校と改称、2002年には男女共学化を導入し、「真・善・美」「知・情・意」といったキリスト教精神に根差しつつ、知的で心豊かな沢山の社会人を輩出してきました。

去る12月4日には「創立60周年記念式典」が、かつての学校を支えて下さった方々、教職員、同窓生、保護者、生徒等沢山の皆さんの参加をえて、盛大に開催されました。記念コンサートとして国際的なクラシックギタリストの木村大さんによる素晴らしい演奏があり、魅了されました。聞くところでは木村さんの奥様はサビエル高校出身だそうです。

60周年記念事業として、校舎・体育館のトイレ改修、音楽室エアコン設置等が行われますが、これらの資金は本校関係者、地元有志や企業の皆さんからの温かいご寄付によるものです。ありがとうございました。なお、寄付は令和5年3月末まで募集していますので、ご協力よろしくお願ひします。

また、サビエル高校後援会から100万円寄付させていただいて、学校図書の実質や校内IT教材等の整備に役立てて頂きます。本校の生徒たちが更に快適な環境の下で学校生活を送れることを願っています。

これからの時代、サビエル高校も少子化の波を受けて更なる変革を求められています。本校の特徴を理解し、支援して下さる後援会の皆様のご助言やご協力よろしくお願ひいたします。

(令和4年12月)

微笑みのキリストを仰ぐ

理事長 小濱 富美代



サビエル高等学校は、1962年53名の一年生とともに、小野田女子学院として創立されました。小野田市の招きにより、市や小野田のカトリック教会の多くの方々の援助でサビエル高校は始まったのです。スペイン人のシスターたちが英語、体育、宗教、養護の先生、寮の舎監として働いていたことは、当時としては珍しい学校だったと思います。制服もちょっと変わったデザインで、かなり目立っていたでしょう。この制服も、当初はシスターが手作りで準備したと聞いています。知らない土地で、経済的に安定していたわけでもなく、まだ校舎も完成しておらず、寮も建てられていない中でサビエル高校はスタートしました。寮生たちはシスター達といっしょに、現在の合併教室に泊まっていたそうです。それなのに、昔の生徒達やシスター達の写真を見ると、ほんとうに明るく、生き生きとしているのはなぜでしょうか。

サビエル高校は、フランシスコ・サビエルの精神を生きようとする学校です。フランシスコ・サビエルの精神とはどのようなことでしょうか。それは、徹底した神への信頼だと私は思います。試練の中にあっても、悩みや不安の中にあっても、また深い孤独の中にあっても、神さまは自分を愛し、決して見捨てないという信頼がありました。

サビエルが生まれ育ったスペインのサビエル城に、サビエルが幼いころからその前で祈っていた、というキリスト像があります。「微笑みのキリスト」とよばれている十字架上で微笑んでいるイエス・キリストの像です。十字架にかけられながらも、微笑みを失わないキリスト像は、愛するという使命はときに苦しいものであるが、それを果たそうとするとき、神さまが真の喜びと幸福をあたえてくださることを表しています。

フランシスコは神さまの愛を伝えるという使命を、生涯かけて果たそうとした人ですが、最後は中国の小さな島で、病気になる、たった一人の仲間に見守られながら夢半ばで命を落とします。傍目には、失敗と映ったかもしれませんが、そのときのサビエルの心には、あの幼いときに、ひざまずいて祈っていたキリスト像の微笑みがあったのではないかと思います。

サビエル生やサビエル高校で働く私たちも、このサビエルの精神を生きるものです。神さまの無償の愛を他の人に伝える、その使命を与えられています。愛は見えませんから、行いを通して伝えます。簡単ではありません。でも私たちは、その使命のために人生をかけてみませんか、と呼びかけられています。使命は一つでも、一人ひとり置かれた場所で方法は違うでしょう。どんなにそれが難しくても、いろいろな試練があっても、神さまは私たちを大切にしてください、決して見捨てない。私たちが行なったことも行なわなかったことも、成功も失敗も、正しかったことも過ちも、すべて、その愛の中に包み込んで恵みに変えてくださることを信じるなら、私たちの心に微笑みがあるでしょう。

60年、それは、人生にたとえれば還暦、もう一度新たに生まれるという節目です。サビエル高校も今までの歩みに感謝し、心新たに歩み始めたいと思います。これからもどうぞ、よろしく願います。そしてともに、歩みましょう。心からの感謝と祈りをこめて。

60周年 感謝の言葉

校長 松原 秀樹



2022年の今年、サビエル高等学校は、60年を迎えました。人間で言えば、「還暦」を迎えたこととなります。この「還暦」は、長寿を祝うのではなく、「感謝の気持ちを贈る節目の日」として祝われるようです。

60年もの間、サビエル高等学校を支えてくださっている全ての皆様に、心から感謝申し上げます。そうした皆様方からの、多くのお力添えがあったからこそ、私たちは今、こうしてサビエル高等学校で学ぶことができます。

そうしたなかでも、特に深い感謝を申し上げたいのは、本校の設立に関わった、「キリスト・イエズスの宣教会」のシスターたちです。本校の設立母体である「キリスト・イエズスの宣教会」は、フランシスコ・サビエルの生誕の地である、スペインのサビエル村で創立されました。神の愛を伝えるために、見知らぬ国で一生をささげたフランシスコ・サビエルの精神に従って、シスターたちは、まだ、戦後間もない1951年に来日し、東京の大学等で教鞭をとりながら、1962年、「キリスト教の精神にもとづいた女子教育」をするため、この地にサビエル高等学校を設立しました。

見知らぬ異国では、暮らすことさえままならなかったでしょうし、そうした中で、教育をすることが、いかに厳しい行為であるかは、想像するに余りあります。しかし、宗教教育、平和教育、ボランティア教育、そしてそれらの活動を通して、隣人の痛みに敏感になり、人々に奉仕する心をもった生徒を育成するために、豊かで深い愛と情熱を、惜しみなく注いでくださいました。こうしたシスターたちに、私は、「聖母マリア」を感じるのです。

本校の生徒玄関には、イエスを抱くマリア像が、いろんな思いをもって登下校する生徒を、毎日、やさしく見守っています。

カトリック教会は、大切にしている「アヴェ・マリアの祈り」があります。これは、3つの文章からなる美しい祈りです。

最初の文は、天使ガブリエルがマリアを祝福した、次の言葉です。

「アヴェ・マリア、恵みに満ちた方、主はあなたとともにおられます」

2つ目の文章は、親戚のエリザベトを訪問したとき彼女がマリアをたたえた言葉です。

「あなたは女のうちに祝福され、ご胎内の御子イエスも祝福されています」

そして、「神の母、聖マリア、わたしたち罪びとのために、今も、死を迎える時も、お祈りください」との祈願で終わる祈りです。

神の導きは、人を通して示されると言われます。私たちは、よき先輩、よき仲間、よき先生との出会いを大切に、また、人の助言や忠告に耳を傾ける謙虚さをもつ人でありたいと思います。サビエル高等学校で学ぶ私たちが、また、学んできた皆さんたちが、「聖母マリアに倣い、神のみ旨」を受け入れて、これから先も、歩んでいけることを願います。

“fiat voluntas tua”



ごあいさつ

同窓会会長 嶋田 千里（35期生）

サビエル高校同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

サビエル高校は2022年で60周年を迎え、去る12月4日には皆様と共に記念式典でお祝いすることができました。式典にご参加くださいました同窓生の皆様ありがとうございました。

式典では「サビエル高校はただ1つの夢でした。」「夢は家族の雰囲気をもった小さな学校でした。」という初代校長アナ・マリア・ディアスシスターのお言葉から始まりました。この言葉を目にした時にサビエル高校の姿そのものであると改めて感じました。同窓生が母校を訪れたときに懐かしい先生方のお顔を拝見することができるのもサビエル高校ならではののではないでしょうか。歴代の先生方、シスター方のご尽力があってこそ私たちの学校があり、今の学校があるということが感じ取れるとても素晴らしい式典でした。

式典終了後、午後から小さい規模ながらも同窓会をサビエル高校の集会室で行い、懐かしの先生方や同窓生の皆様と母校での思い出のエピソードを語り合いました。先生方は私たち同窓生が卒業しても同窓生の相談に乗ってくださったり、アドバイスをくださったり、本当に私たち同窓生の人生の支えになっているのだと思いました。

私が在校中は、先生方はとても厳しかったのを今でも覚えています。しかしそれは先生方の生徒たちへの深い愛情があるからこそだったと思います。カルメンシスターも「私はとても厳しかった。けれど私が厳しくしなければ誰も注意する人がいない。けれどもみんな卒業したら私に会いに来ますよ。」とおっしゃいました。シスターの言葉を聞いて、先生方だけでなく、シスターやその他サビエルで生徒に関わってこられた全ての方が、愛を持って生徒たちに接してくださり、今の私たちがあるのだということを感じました。

同窓会では、懐かしい先生方を前に涙を流されている同窓生もいらっしゃいました。コロナウィルスがまだ落ち着いていない状態でどのような形での開催にしたら良いものか大変悩みましたが、小さいながらも同窓会を開催できたことを大変嬉しく思います。またその実現にお力添えくださったサビエル高校の先生方、ご参加いただきました恩師の先生方、シスター方、そして母校に足をお運びくださった同窓生、インターネットを通じて日本各地、そして海外からも参加してくださった同窓生の皆様に感謝いたします。

同窓会の前に「同窓会はみんなを繋ぐ絆だからもっと開催した方がいい！」とマグダレナシスターにお言葉をいただきました。そのお言葉通り同窓会は私たち同窓生の絆を感じることができるものだったと思います。

今後も同窓会活動にも力を入れてまいりたいと思いますので何卒ご協力の程よろしくお願いいたします。

皆様の2023年が良いものとなりますようお祈りいたします。

〒756-0080

山口県山陽小野田市掃山三丁目5-1

サビエル高等学校 同窓会

フェイスブック サビエル高校同窓会ページ

<https://www.facebook.com/>

サビエル高校同窓会-190151575055076

メールアドレス info@xavier.ed.jp

TEL 0836-83-3587



Begin to move again

生徒会長 2年 畠山 千佳

今年度の生徒会スローガンは「Break through ～先駆者は私たち～」です。Break through という単語には困難な状況を打開する、障壁を突破するという意味があります。ここ数年はコロナ禍の影響で例年通りに行事が行えず、規制が多い中での活動に、執行部の先輩方は本当に大変な思いをされたと思います。そして、少しずつ元の日常に戻りつつある今、私たち執行部にできることは、コロナ禍で失われた生徒のみなさんの笑顔を取り戻していくことだと考えました。現状を変えていくということは、容易なことではありません。だからこそ、様々な観点から今あるものを見つめ直し、目標と行動力を持って今できることをみんなで考えていこうという思いを込めて、このスローガンを掲げました。

11 月にはサビエル高校の大切な行事である修養会が行われました。今年度の修養会では、「自分って…」というテーマのもと、自らの「過去」から「未来」まで、様々な視点から自己理解を深めるための活動を行いました。高校生活の3年



間は、自分の生きていく道を選択する大きな決断の時期です。良い決断のためには自己理解が欠かせません。しかし、忙しい毎日の中、自己について深く考える時間を十分に持つことは、なかなか難しいでしょう。自分の進む道に自信が持てず、自分が本当にありたい姿がよく分からない、という人も多いのではないかと思います。また、自己理解は他者理解のための一歩でもあると思います。日常を忘れ、一歩立ち止まり、自己や他者について理解を深める、今年度の修養会が、生徒の皆さんにとってそのような時間になれたとしたらうれしく思います。

そして今年は、サビエル高校の60周年という節目の年でもあります。先日行われた記念式典では、サビエル高校の創立から現在に至るまでの歴史を振り返るとともに、フランススコ・サビエルが私たちに伝えた愛の尊さやメッセージについて改めて考える機会になりました。

他者との出会い、そして関わりを何よりも大事にするこの学校で、学び多き日々を過ごしていることに、大きな感謝の気持ちを感じます。先輩方が創り上げてきたサビエル高校の歴史を次世代に繋げていくことができるように、感謝の気持ちを忘れずこれからも歩んでいきます。

2022年度 教職員一覧

(2023年1月15日現在)

職名	担当	氏名	職名	担当	氏名
理事長		小濱 富美代	教諭	英語	相本 憲一郎
校長		松原 秀樹	教諭	英語	野口 美奈子
副校長	美術	友 廣 洋	非講	英語	久保 隆一・久保
教頭	理	江藤 正和	非講	英語	加比 久・加比 久
常講	国語	大曲 多佳子	非講	英語	石川 久・石川 久
常講	国語	村田 敏晴	養護教諭		伊藤 亜希子
非講	国語	大曲 信介	スクールカウンセラー		大石 英史
教諭	社会	濱 寄 豊	スクールカウンセラー		岡本 博子
教諭	社会	柏田 直人	非寮務		田中 由佳
常講	社会	山本 清明	非寮務		市山 野々花
非講	宗教	ワケ・ノエリ	非寮務		高須 知世
教諭	数学	川田 康二	非寮務		勇村 つづり
教諭	数学	酒井 めぐみ	非寮務		島野 加奈子
常講	数学	泉 信太郎	事務長		井上 光義
常講	理	檜 垣 毅	事務		平 園 美
教諭	理	東野 由起子	事務		三上 麻代
教諭	保体	種田 由紀恵	非事務		有田 智子
教諭	保体	錦 織 豊	非事務		今井 美和
非講	音楽	時繁 順美	校医		瀬戸 信一郎
非講	家・情	原 真美子	校医		田中 裕基
教諭	英語	梅岡 克典	薬剤師		松垣 裕明

※ 凡例

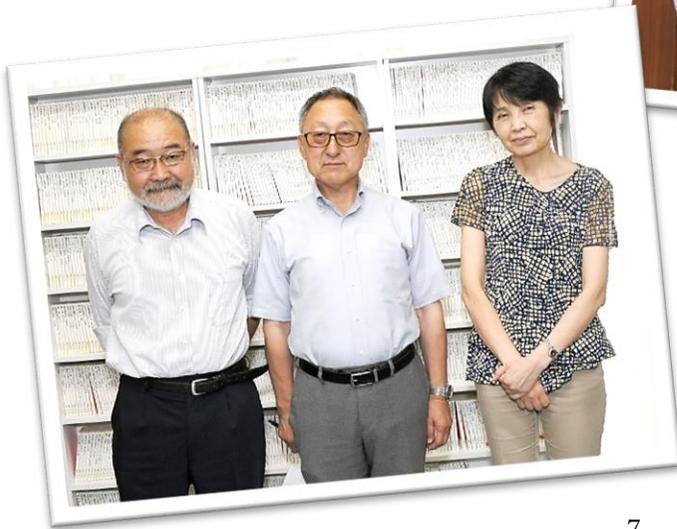
常勤講師：常講

非常勤講師：非講

家庭：家

情報：情

先生方お元気ですか？



上から 芸術・家庭
社会
外国語
数学
国語



上から 保体・養護
理事
事務
寮

祝 60周年

サビエル高等学校は2022年4月に60歳になりました。

おめでとうございます！

2022年12月3・4日に60周年記念行事が盛大に行われ、4日の記念式典後には同窓会も開かれました。

2022年12月3日(土) 18:00～ 『60周年記念コンサート』

不二輸送機ホール 大ホールにて、木村 大(きむら だい)氏によるクラシックギターコンサートが開催されました。

木村氏の奥様が、なんとサビエル高校の卒業生というご縁、松原校長がコンサートホール勤務時代に、同氏のプロ活動開始直後の山口県で最初の演奏会を招致されたというご縁もあり、楽しいトークを交えながらの素晴らしい演奏会でした。

演奏会後には、サイン会があり、購入したCDにサインを希望する人の列ができていました。

エントランスホールでは、懐かしいシスターたちの姿や、サビエル高校ゆかりの方々が談笑される姿が、あちらこちらで見られました。

ギターコンサート ポスター

60周年記念式典式次第の一部をご紹介します！

総合司会 生徒会副会長 松本 心海

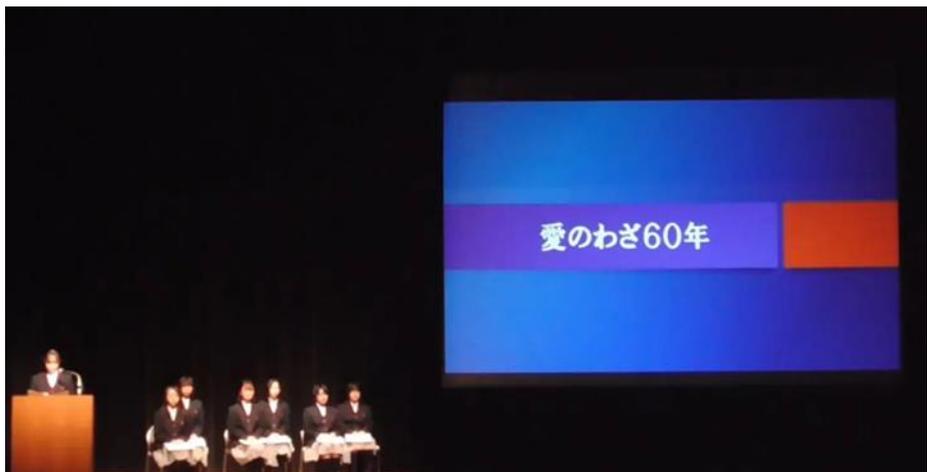
- 1 理事長あいさつ 理事長 小瀨 富美代(Sr.)
- 2 来賓祝辞 山陽小野田市市長 藤田 剛二 様
- 3 みことばの祭儀
 - (1) 入祭の歌「われ 神をほめ」(時繁 順美)
 - (2) 集会祈願
 - (3) 聖書朗読「コリントの信徒への手紙Ⅱ 9章6節～10節」(聖書研究部 若林 真帆)
 - (4) 講話(カトリック広島教区教区長 アレクシオ白浜 満 司教)
 - (5) 共同祈願
 - 生徒代表(聖書研究部 弥永 美咲)
 - 保護者代表(サビエル会会長 森重 明洋 様)
 - 職員代表(副校長 友廣 洋)
 - (6) 派遣の祝福
 - (7) 閉祭の歌「愛とつくしみのあるところ」(合唱部・合唱部 OG・有志)
- 4 感謝のこたば
 - 校長 松原 秀樹
 - 生徒会長 畠山 千佳
- 5 記念事業披露 後援会会長 西村 公一 様
- 6 「愛のわざ60年」(生徒発表) 司会 カリクス委員長 森重 里沙子
 - (1) 「愛のわざ」 理事長 小瀨 富美代(Sr.)
 - (2) 「愛のわざ」実践報告(生徒発表)
 - ① フィリピン教育援助 1年1組 小野 亜優美
 - ② 歳末助け合い街頭募金 1年2組 藤井 せいら
 - ③ 釜ヶ崎ワークキャンプ 1年2組 田中 椋華
 - ④ 東日本大震災復興対策 1年1組 井上 美穂
 - ⑤ インターアクトクラブ 1年3組 藤井 心彩
 - ⑥ カリタス部 1年3組 楠本 明日菜
 - (3) 動画「サビエル高等学校の60年」

前日に引き続き同ホールにて、多くのご来賓の方々、同窓生の皆様が参列される中、学校法人サビエル学園サビエル高等学校創立60周年記念式典が行われました。

アレキシオ白浜満司教様の司式による「みことばの祭儀」、本校生徒による「建学の理念」に基づいた活動報告(ボランティア活動、国際交流活動など)、本校の60年を振り返る動画の上映など、まさにサビエル高校ならではの、荘厳な中にもあたたかさを感じられる式典となりました。式典の最後は、前日にも演奏していただいた木村 大氏による60周年記念特別バージョンの慶祝演奏で幕を閉じました。



みことばの祭儀(サビエル高等学校合唱部と合唱部OGによる聖歌合唱)



生徒による活動報告



**60年を振り返っての動画上映
(アナ・マリア・ティアス初代校長と建設中の校舎)**

エントランスホールでは、サビエル高等学校 60 年の歩み等の展示があり、ご来場いただいた方々には、式典のパンフレットや 60 周年記念ファイル、校章が焼き付けられた記念の焼き菓子（マドレーヌ）が配付されました。

2022 年 12 月 4 日（日）14：00～ 『同窓会』



記念式典終了後、場所をサビエル高等学校集会室に移して、サビエル高等学校同窓会が行われました。

日本全国、海外からもズームによるたくさんの参加があり、サビエル高校の先生方や懐かしい先生方、シスターたちを交えての楽しい語らいの会となりました。

**懐かしのマクダレナシスター
まだまだお元気です！**



シスターたちからのメッセージ

サビエルの60周年のお祝いに参加できることは、とても嬉しいことでした。理事長であるシスター小浜から電話があり、日曜日ですので『来て、来て』とお誘いされました。ちょっと迷いましたが、やっぱり、行ったことは喜びでした。

多くの皆さんのために、サビエルでの三年間は懐かしい時期だったと思います。サビエル高校の時代とは、ただ学校に行くことではなく、サビエルで体験することは大切な交わりから生まれるものです。先生と生徒、先生同士と生徒同士、互いに助け合いながら、それを通して、辛い体験を乗り越えると同時に、友情の喜びを味わうことができたでしょう。

東京にいても、卒業生から時々電話があります。「先生、覚えていらっしゃるでしょうか。私は学校に毎日行くことは大変でしたが、今、成長して、仕事を通して、苦しんでいる人の助けになりたい・・・」と。この喜びの声を聞いて、ますます励まされていきます。

サビエルで学んだのは「With others, for others」ですね。その心があったので、サビエルは「60歳になった」のです。これからも、サビエルが歩み続けるために、ご自分たちが、積極的に中学生たちに出会って、「To have a big heart, go To Xavier」と宣伝してゆくのは、いい手伝いになるでしょう。よろしくね。

ベアトリス・カベスタニ

60周年おめでとうございます。

2023年、平和と喜び、希望の恵みがありますように。
愛と奉仕の精神に生きることが出来ますようにお祈りします。

カルメン・レイ

昨年12月4日に行われたサビエル高校創立60周年記念祭に出席して、とても嬉しかったことは、社会・文化が変わってきて、サビエル高校の「愛と奉仕」「他者と共に生きる」という精神が受け継がれてきているという事実と、今は亡き先生方を思い出す機会であり、また現職の先生方や卒業生の幾人かに久しぶりに会えたということでした。

私は人生の約3分の1をここで過ごしてきた私の生き方が根本的に変えられたところですから、サビエルは私の生まれ育った家族や母校以上の存在です。本当に不思議な出会いです。それは私にいのちを与え生かしてくださっている神と周りの人々、神が私に与えて下さった人々、皆さんとの出会いです。

この喜びを分かちためのひとつの方法として、フィリピンから帰国して以来、幾人かの卒業生と聖書を読む会を東京で持っていたのですが、コロナの関係で現在ZOOMによって行っています。インターネットに繋がるPCかスマホがあれば居場所によらず参加できますので、興味があり、平日の時間が取れる人は連絡してください。聖書を読むといっても、新聞、TVなど騒がれる社会問題を考えたり、何よりも同窓のよしみのおしゃべりに花を咲かせています。

渡辺栄子 連絡先：eikomcj@gmail.com

卒業生の皆さん

この度、サビエル高等学校創立60周年のお祝いに参加し、とても楽しいひと時をすごすことができ、うれしかったです。式典のプログラム、皆様との出会い等を通して、サビエル高等学校の心が今も生きていることを肌で感じ、素晴らしかった日の思い出がよみがえり、そして感謝の気持ちが心に残りました。”出会い”は何と素晴らしいことだ!!!

あなた達の中でも、時々出会いの機会を作ればよいと思います。もう、それを体験している卒業生もいますと聞いていますが。。お勧めします!

では、この機会を与えてくださった方々に心から感謝いたします。有難うございました。

マグダレナ・ピセント



サビエル高校卒業生の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。私が舎監を務めたのは、1992年から4年間でした。幼児教育から急に変わって、高校生の皆さんとの出会いは「びっくり」の一言。教えていただくことばかりでした。現在は寮の様子も変わったようですが、あのころは3年生が寮生活の要になっていました。規律正しく、食堂でのルールがあり、それが守られていました。(3学年と一緒に食卓に座る、食卓準備の当番、食器洗い、など)皆が一堂に会するのは食堂でしたから。個室や勉強部屋などの皆さんの姿はわかりません。多分、ヒソヒソが多かったでしょうね。

突然の脱走、発病、紛失物、夜間にバイクの侵入、など、びっくりの連続。でも何があっても、皆が生き生きとしていればいいと思っていました。

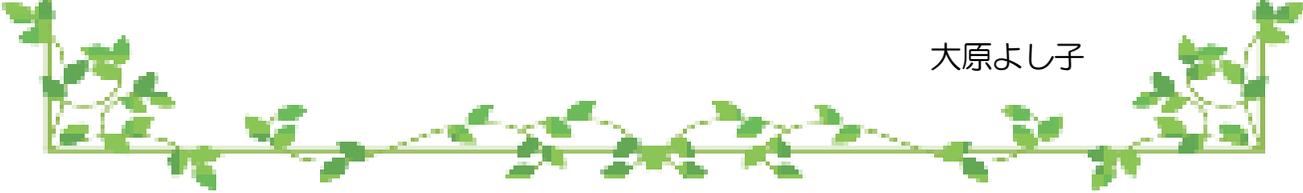
老いた両親の介護のため、早期に退職したことは、ある意味でお互いにラッキーだった、と感謝しています。

30年後の現在は自分自身の介護の毎日です。

どうぞ、皆様、与えられた命を100%生かしてくださいね。何があっても、すべてプラス思考で・・・。

天国への道を進んで行きましょう。先に行って、待ってるね。

大原よし子



現在、Sr.ベアトリス、Sr.アントニア、Sr.アイダ、Sr.渡辺、Sr.マグダレナは、東京南小岩の修道院(03-5889-3055)に、Sr.カルメン、Sr.山領、Sr.大原、Sr.リエンは防府の修道院(0835-22-4006)にいらっしやいます。

お近くにお寄りの際は、修道院に連絡してみてください。

2021 年度決算報告

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

◎収入の部	前年度より繰越	2,993,869円
	会費・賛助金	1,383,000円
	預金利息	4円
	合 計	4,376,873円

◎支出の部	会費・賛助金振込手数料	50,159円
	振込取扱票印字サービス料	3,603円
	郵便振替口座残高証明書発行料	520円
	普通預金口座残高証明書発行手数料	3,300円
	封筒他消耗品	37,699円
	奨学費	253,200円
	あゆみ46号印刷費	118,800円
	あゆみ46号郵送料	381,998円
	送金手数料	1,540円
	合 計	850,819円

*次年度へ繰越（収入－支出） 3,526,054円

《内訳》	郵便振替	2,933,547円
	普通預金(山口銀行)	592,507円
	合 計	3,526,054円

上記のとおり相違ありません。

2022年 10月 12日

サビエル高等学校後援会

会 長	西 村 公 一	印
監 事	安 部 良 枝	印
監 事	西 村 道 子	印

同窓会 会計報告

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

◎収入の部	前年度残高	3,915,118円
	58期生入会金	165,000円
	預金利息	33円
	合 計	4,080,151円

◎支出の部 残高証明書発行手数料 3,300円

*次年度へ繰越（収入－支出） 4,076,851円

サビエル高等学校後援会 会則

(名 称)

第1条 本会は、サビエル高等学校後援会と称し、事務局を同校に置く。

(目 的)

第2条 本会は、サビエル高等学校の方針に則して物心両面よりこれに協力・後援することを目的とする。

(事 業)

第3条 前条の目的達成のため、次の事業を行う。

1. 同校教育の理解と協力
2. 同校の経営及び施設の維持・改善に対する協力
3. 年一度同校のあゆみ(報告書)を発行

(会 員)

第4条 本会の趣旨に賛同の同校卒業生保護者及びサビエル会員と同校卒業生をもって会員とする。

(会 費)

第5条 会費は、年間一口(1,000円)以上を拠出するものとする。

(役 員)

第6条 本会は、次の役員を置く。

会 長 1名 副会長 2名 評議員 若干名
監 事 2名 会 計 1名 顧 問 若干名

(役員の仕事)

第7条 前条の各役員は、それぞれ次の仕事を持つ。

1. 会長は、本会を代表し、会務を処理し、会議の長となる。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に支障あるときは、その職務を代行する。
3. 評議員並びに会計・監事は、役員会を構成し、会長の諮問にこたえる。
4. 会計は、本会の会計を担当する。
5. 監事は、本会計を監査する。

(役員を選出)

第8条 会長・副会長・評議員及び監事は、総会において会員の中より選出し、会計は会長が任命する。ただし、顧問には、会長職経験者をあてる。

(役員の仕事)

第9条 役員の仕事は、2か年とする。ただし、再選を妨げない。

(総 会)

第10条 総会は、毎年一回開催する。

(会計年度)

第11条 会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

付 記

この会則は、昭和49年9月28日より実施する。

2022年度役員一覧
(敬称略)

(※は卒業生)

会 長	西村 公一	
副会長	升本 猛	嶋田 千里※
会 計	野口 美奈子※	
監 事	安部 良枝※	西村 道子※
評議員	厚見 光雄	石部 常登
	原木 雄詩	松本 敏子
	柳屋 幸明	石田 修祥
	中島 裕一	竹本 登
	政倉 結衣※	磯中 唯※
	國吉 玲奈※	池田 穂乃香※
	武原 里菜※	青池 あまね※
	内村 真唯※	越野 裕理※
	岩田 真由子※	
顧 問	吉屋 ひとみ※	
事務局	今井 美和※	

＜サビエル高等学校と後援会のあゆみ＞

1974(昭和49)年 9月

当時の卒業生保護者の方々により『サビエル高等学校後援会』が設立される。

初代会長 広沢道彦様のご指導の下、会則が整備、活動が開始される。

1975(昭和50)年 6月

「あゆみ」第1号発行

2002(平成14)年10月

創立40周年記念式典及び記念事業内容

- ・男女共学導入に伴い、男子手洗い増築工事 ・学校、寮とも空調完備
- ・コンピュータ教室設置(改造) ・電気容量増設
- ・駐輪場新設及び交通安全改良工事 ・給水改善工事 ・武道場新築工事

2012(平成24)年10月

創立50周年記念式典並びに教育講演会

耐震補強工事予定(本館・サビエル寮・体育館・第一特別教室棟)

「あゆみ」第37号発行

2014(平成26)年1月

理事長 Sr ケア フェルダゲ 入療養のため辞任、新理事長として栗田陽二郎校長兼任

サビエル寮・体育館・第一特別教室棟の耐震補強工事終了

2015(平成27)年3月

本校舎耐震補強工事終了

2016(平成28)年4月

理事長兼任校長栗田陽二郎氏が退任、新理事長として Sr 小濱富美代、新校長として松原秀樹氏が着任

2016(平成28)年8月

サビエル寮のリニューアル工事完成

2017(平成29)年4月

サビエル寮のトイレ・シャワールーム改修工事完成

2017(平成29)年8月

21世紀型教育に向けてのITC 機器・設備導入

2022(令和4)年12月

創立60周年記念式典並びに木村大氏による記念コンサート

2023(令和5)年3月

「あゆみ」第47号発行

1962(昭和37)年4月、山陽小野田(旧小野田)市掃山の丘でサビエル高校は小さな産声を上げました。

それから半世紀、神様と多くの方々を支えられ、卒業生は5,196名を数えるまでになりました。

建学の理念「愛と奉仕の精神」、「他者のために学び、祈り、行動する」は卒業生・在校生を問わず一人ひとりの中で培われ、社会や家庭で実を結び、次の世代へと受け継がれていくことでしょう。

後援会と同窓会の皆様、これからもご支援くださいますようお願い申し上げます